

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
415 四季の郷公園管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	4	農業と環境の共生

事業種別	継続		
事業期間	H20 ~		
事業実施の根拠法令	和歌山市四季の郷公園条例		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	農林水産課	太田 克弘	435-1049
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農林緑花費		
	目	四季の郷公園事業費		
	大事業 中事業	四季の郷公園事業 四季の郷公園管理運営事業（四季の郷公園）		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 四季の郷公園を維持管理運営し、四季を通じて自然と農業に親しむ場を市民に提供する。		全体事業概要 四季を通じて自然と農業に親しむ場を市民に提供し、農業の発展に資する目的で設置された。現在、指定管理者制度導入し、公園の適正な管理・運営を図り、タケノコ掘りなどの祭り・イベント等にて生産者と消費者の交流推進を行う。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
・地元団体及び農家等と連携し、季節ごとに各種イベントを開催するなど公園の活性化を図るとともに、生産者と消費者の交流を推進		・地元団体及び農家等と連携し、季節ごとに各種イベントを開催するなど公園の活性化を図るとともに、生産者と消費者の交流を推進	・地元団体及び農家等と連携し、季節ごとに各種イベントを開催するなど公園の活性化を図るとともに、生産者と消費者の交流を推進	・地元団体及び農家等と連携し、季節ごとに各種イベントを開催するなど公園の活性化を図るとともに、生産者と消費者の交流を推進		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	34,290	33,799	30,578	39,680	49,918	49,918	74,915	74,915	74,915	
伸び率(%)	-	-	▲10.8%	17.4%	63.2%	25.8%	50.1%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	3,812	1,564	3,812	1,810	7,684	11,033	13,817	13,817	
	正規職員以外	965	1,872	1,900	1,914	3,244	1,262	6,310	6,310	
	小計	4,777	3,424	4,777	3,724	10,928	12,295	20,127	20,127	
国庫支出金				4,590	9,666	9,666	25,367	25,367		
県支出金										
市債							19,100	19,100	19,100	
その他	3,101	2,086	3,169	2,232	3,266	3,266	2,048	2,048	2,048	
一般財源(税等)	31,189	31,708	27,409	32,858	36,986	36,986	28,400	28,400	28,400	
所要人数(人)	正規職員	0.51	0.21	0.51	0.23	0.97	1.39	1.74	1.74	
	正規職員以外	0.46	0.95	1.00	0.87	1.03	0.57	2.87	2.87	
主な予算内訳	管理運営委託料 26,853千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				実績値	達成度(%)	実績値	達成度(%)	実績値
活動指標	四季の郷公園イベント開催件数	回	目標値					
			実績値	2	3	3	3	
			達成度(%)					
成果指標	公園施設(キャンプ広場)利用件数	件	目標値	500	500	500	500	
			実績値	511	505	500		
			達成度(%)	102.0%	120.0%	100.0%		
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	四季の郷公園は市民の憩いの場・農業と自然と触れ合う場として重要度は大きい。
見直し・改善内容	